

1 活動（実践）内容

○ 第5学年「Hi, friends! 1 Lesson6 What do you want?」（4／4時間目）

目標 『外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。』

（1）導入

- ・アルファベットの歌を歌う。
- ・児童に「What do you want?」と問い掛け、答えたアルファベットカードを黒板に掲示する。

（2）活動

- ・カルタゲーム…2人ペアで1組のアルファベットカードを使う。児童が教師に「What do you want?」と聞く。教師が答えたアルファベットのカードをとる。
- ・バトルゲーム…**A**～**F**までのカードをもち、交流。「What do you want?」「I want ○ card.」と言い合ってから、じゃんけん。勝った人が、相手のカードをもらうことができる。
- ・**?**ボックスから、相手のほしいものを探す。（グループで交流）

G1 「What do you want?」

G2 「I want a fish.」

G1 **?**ボックスから、手さぐりで魚を探す。

2 成果・課題



○ 個人・ペア・グループ・全体と活動形態が様々だったので、児童がどの活動も楽しむことができた。

○ 一人一人に、「What do you want?」と、アルファベットを答えさせ、黒板に掲示する活動では、児童がアルファベットとアルファベットをつなげ言葉にしようとする姿が見られた。

○ カルタゲームでは、カードをとるときにアルファベットの発音をしたり、**?**ボックスを使ったゲームの質問や答えを、グループ全体で発音したりするなど、英語を何度も発音する機会が設けられていた。



△ **?**ボックスで、相手のグループがほしい物を探す活動で、なかなか探し当てられないときに形をヒントにすると、学習したことを生かすことができる。

△ 活動することに集中してしまい、友達の発言や他グループの発言を聞く活動が十分ではなかった。「聞く」ことで、学びや気づきを深めさせたい。

時間 (分)	児童の活動	教師の支援
2	1 挨拶をする。 ・ I'm ○○. ・ How are you ?	・ Hello. How are you ? ・ I'm cold.
3	2 アルファベットの歌を歌う。	・ Let's sing alphabet song.
3	3 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	
	③ What do you want? を使って ? box から相手のほしいものを 探そう。	・ Today's aim. ・ Today , let's guess in ? box, using 'What do you want?'
15	4 カルタゲームをする。 ・ I want N card. ・ I want S card. ・ lesson6 のカードを使って、カルタをする。 ・ What do you want?	・ カードを黒板に掲示するときに、児童に'What do you want?'と尋ね、ほしいカードを答えさせる。 ・ I have some alphabet cards. What do you want? ・ Let's play caruta game. ・ I want P card. ・ I want T card. ・ カードをとるときに、アルファベットの発音をするようにさせる。
5	5 Battle game をする。 ・ lesson6 のカードを使って、相手にほしいものを尋ね。お互い聞くことができたなら、じゃんけんをし、勝った児童が相手の児童のカードをもらうことができる。 ・ What do you want ? ・ I want N card(please). ・ Rock scissor paper one two three.	・ タイマーを設定し、児童のやる気を喚起する。 ・ 発音が難しく交流できない児童に声をかける。 ・ デモンストレーションをし、活動のイメージをもたせる。
15	6 手さぐりで、? box から相手のほしいものを探す。 (探す児童) ・ What do you want ? (その他の児童) ・ I want apple (please).	・ ゲームをやる児童だけでなく、周りの児童も、発音することで、繰り返し発音させる。
2	7 片づけ。終わりの挨拶。 ・ Thank you for lesson.	